

第4回ごみ処理施設整備検討委員会の開催結果について

日時：令和3年4月22日（木） 午後2時～午後4時15分

場所：栗東市環境センター 2階 研修室

出席者：委員 6名、市 4名

傍聴者：3名

協議事項：処理方式（好気性発酵乾燥方式）について

処理方式の選定について

事業方式について

計画ごみ質について

- 主な意見：
- ・好気性発酵乾燥方式について、栗東市から発生するごみを使用して民間委託により実施するのは良いが、製造したRPFの需要がなくなった途端に、処理を委託することができなくなる。
 - ・好気性発酵乾燥方式をPFI事業ですれば、市の事業となる。現時点で、民間事業者から実施できると言われても、非常に難しい状況である。
 - ・好気性発酵乾燥方式をストーカ方式やハイブリッド方式と横並びで評価することは難しい。
 - ・処理方式のまとめについて、ストーカ方式又はハイブリッド方式とされており、これまで十分議論してきたため、これで良い。

第5回ごみ処理施設整備検討委員会の開催結果について

日時：令和3年5月19日（水） 午前10時30分～午後0時41分

場所：栗東市環境センター 2階 研修室

出席者：委員 6名、市 4名

傍聴者：4名

協議事項：事業方式について

ごみ処理施設整備基本計画（案）について

PFI等導入可能性調査報告書（案）について

- 主な意見：
- ・ごみ処理施設整備基本計画として定める事項は、全国都市清掃会議が発行しているごみ処理施設整備の計画・設計要領に記載がある。策定しようとしている基本計画では、計画・設計要領に記載されている事項を満たしておらず、基本構想として位置づけるべきものである。
 - ・ごみ処理施設整備スケジュールの令和4年度に、事業者の選定のために必要な項目を定める期間として、施設整備基本計画の策定期間を設けるべきである。
 - ・災害廃棄物の量を見込んで、処理能力を10%加算しているが、災害廃棄物処理計画と整合しているか確認しておくべきである。
 - ・PFI等導入可能性調査について、現在のところ、処理方式や建設場所が定まっていないことから、今後、結果が変動することが考えられる。現段階では、内部資料として扱い、全ての条件が定まった段階で、再度検討を行うべきである。